

1. 自殺の問題にこれ以上取り組みといわれるのは腹が立つ。
2. 私に自殺予防に取り組む責任はない。
3. 健康に関連する適切なサービスを利用することができるように予算を増やしても、自殺率には影響しない。
4. 自殺念慮のある患者のために働くのは、報いのある仕事だ。
5. 本当に自殺しようとする人は、誰にもそのことを告げない。
6. 人から自殺予防についてのアドバイスをされても、批判されているようで、受け入れる気になれない。
7. 臨床業務に関与しない人でも、自殺予防について判断を下すのはたやすい。
8. 自殺未遂をして生き残っているのなら、それは注意をひくための方法だったのだ。
9. 人には自殺する権利がある。
10. 失業や貧困が自殺の主たる原因なので、自殺を防ぐために個人にできることはほとんどない。
11. 誰かの自殺のリスクを評価することは、気持ちの良いものではない。
12. 自殺予防対策は資源の浪費であり、もっと他に活用できるはずだ。
13. 自殺をしようとする人を見分ける方法はない。
14. すべての自殺のうち、防ぐことができるのはどの程度の割合ですか。(全くない—全て)

---

1) 「強く反対=1」「反対=2」「どちらでもない=3」「賛成=4」「強く賛成=5」

2) 逆転項目は 4 と 14。